

このたびは、PROGRAM BOX Gen2 をお買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品を安全にご使用いただくために、取扱いに関する手順、注意事項について説明しています。
本製品の性能を十分発揮させるために、ご使用前に本書をよくお読みになり、正しくお取扱いいただくようお願い申し上げます。なお本書はお読みになった後も、いつでも読めるように大切に保管してください。

注意 安全に使用していただくための注意事項

- 本製品は SANWA プロ専用です。他社製品でのご使用は、メーカーによって仕様異なるため本製品の故障の原因となりますので使用しないでください。
- 本製品にバッテリーを接続する際に極性 (+/-) は絶対に間違えないでください。逆接すると瞬時にプログラム ボックス自体が壊れます。
- 本製品は電子部品を搭載しており、大変水に弱いため雨天時や水たまりのある場所では絶対に使用しないでください。

PROGRAM BOX Gen2 の特長

- SUPER VORTEX Gen2 のファームウェアのアップデートを含む全ての調整が可能になります。
 - マイクロ SD カード対応で、プログラム ボックスで設定したデータや、対応する送信機で設定された SUPER VORTEX Gen2 の設定値をマイクロ SD カードに保存することができます。(※マイクロ SD カードは別売り)
 - PROGRAM BOX Gen2 が対応しているマイクロ SD カードは、マイクロ SD/ マイクロ SDHC カードになります。
- ※PROGRAM BOX Gen2 ではマイクロ SD カード内のファイル削除はおこなえません。不要なファイルは PC などで削除してください。

テクニカルデータ

- 使用電源 3.6V ~ 7.4V
- 寸法 86.2 x 59.0 x 19.2mm (突起部含まず)
- 重量 75g

付属品

- COM ケーブル 1 本
- 電池ボックス 1 本
- 取扱説明書 (本書) 1 部

各部の名称

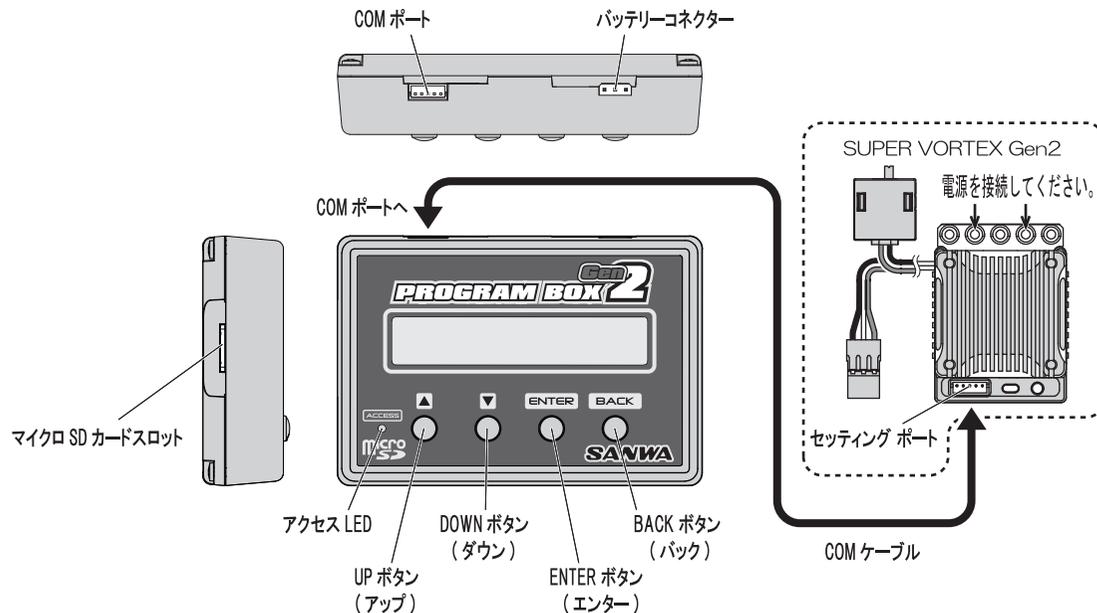
●PROGRAM BOX Gen2 の COM ポートと SUPER VORTEX Gen2 を COM ケーブルで接続して使用します。
注) SUPER VORTEX Gen2 と PROGRAM BOX Gen2 を接続して使用する場合には SUPER VORTEX Gen2 のファームウェアをアップデートしないと PROGRAM BOX Gen2 と通信できません。使用前に必ずファームウェアをアップデートしてください。

●電源について
SUPER VORTEX Gen2 と接続して使用する場合は SUPER VORTEX Gen2 の BEC から電源供給されます。
同梱されている電池ボックスを使用することで PROGRAM BOX Gen2 単体での動作も可能になります。

※電池 BOX を使用する場合に電池の電圧が下がると PROGRAM BOX が正常に動作できなくなります。
「LOW BATTERY」の表示が出た場合はすみやかに電池を交換してください。

※電池 BOX を使用して PROGRAM BOX Gen2 を動作させる場合には編集したデータをマイクロ SD カードに保存することはできませんが、SUPER VORTEX Gen2 との通信はおこなえますのでご注意ください。

※PROGRAM BOX Gen2 のメニューには、設定方法によっては使用できなくなるメニューや将来的な機器に対応するメニューが含まれています。
機能の設定については十分注意して設定してください。

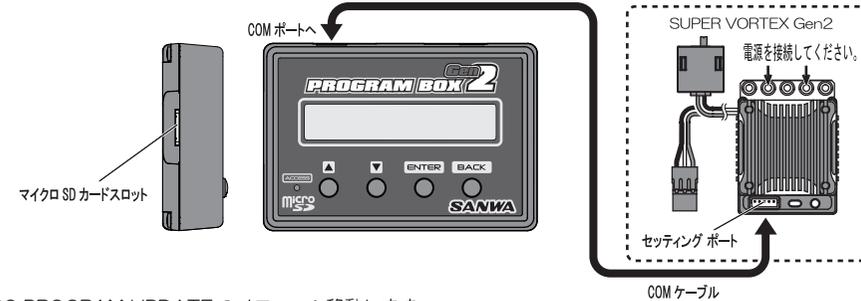


PROGRAM BOX Gen2 使用する前に

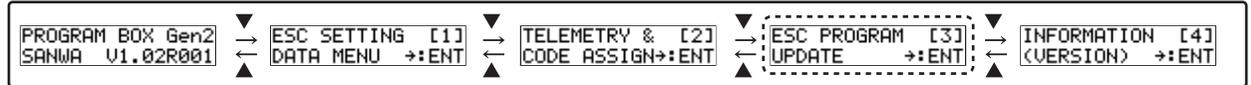
- PROGRAM BOX Gen2 と SUPER VORTEX Gen2 を接続した際に SUPER VORTEX Gen2 のファームウェアが PROGRAM BOX Gen2 に対応していません。使用前に必ずファームウェアをアップデートしてください。
- ・ファームウェアをアップデートしていない状態で接続するとキー操作した際にアップデートのメッセージが表示されます。



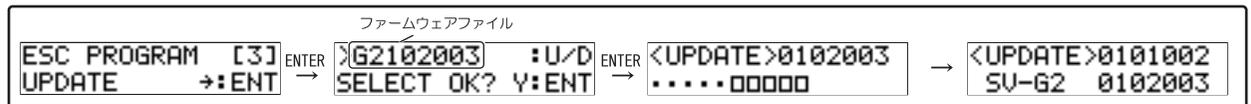
- 1) 弊社 HP からファームウェアをマイクロ SD カードにダウンロードして、PROGRAM BOX Gen2 のマイクロ SD カードスロットに挿してください。
※書き込みをおこなう PC の OS には依存しません。
- 2) PROGRAM BOX Gen2 と SUPER VORTEX Gen2 を COM ケーブルで接続してください。



3) ESC PROGRAM UPDATE のメニューへ移動します。



4) ENTER するとファイル選択画面に切り替わりますので、ファームウェアファイル (G21012003) を選択して ENTER します。



5) ファームウェアがアップデートされて PROGRAM BOX Gen2 と SUPER VORTEX Gen2 がリンク可能になります。
アップデート後は PROGRAM BOX Gen2 と SUPER VORTEX Gen2 を接続して電源 ON にすると接続確認のメニューからスタートします。
設定する内容に合わせてメニューを選択してください。

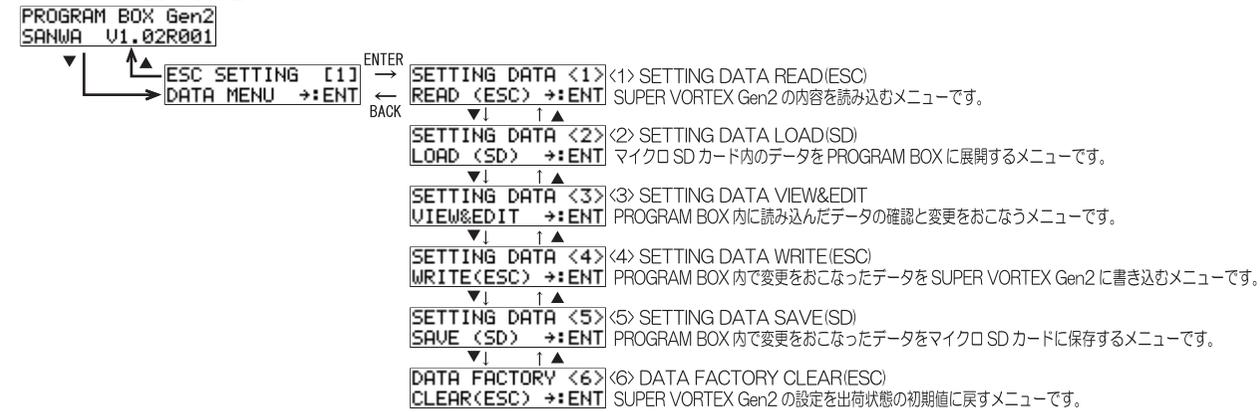
PROGRAM BOX Gen2 メニューについて

- PROGRAM BOX Gen2 は SUPER VORTEX Gen2 の各種設定変更がおこなえる ESC SETTING MENU とテレメトリーやコード AUX の設定に関する設定変更がおこなえる TELEMETRY & CODE ASSIGN と SUPER VORTEX Gen2 のプログラムアップデートをおこなう ESC PROGRAM UPDATE の項目にわかれております。設定する内容に合わせてメニュー選択をおこなって設定してください。

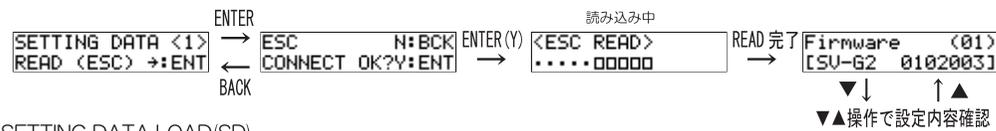


●ESC SETTING MENU について

ESC SETTING MENU は SUPER VORTEX Gen2 の各種設定がおこなえるメニューです。
 ※設定内容の変更に関して、PROGRAM BOX 内にデータを読み込み / 編集作業をおこない、SUPER VORTEX Gen2 に編集したデータを書き込むことで作業が完了する仕組みです。

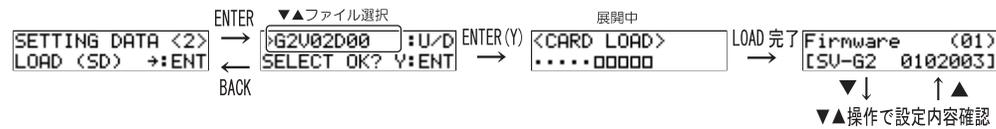


・<1> SETTING DATA READ(ESC)
 SUPER VORTEX Gen2 を接続して設定されている内容を PROGRAM BOX に読み込むメニューです。

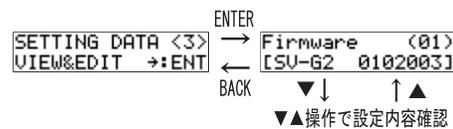


・<2> SETTING DATA LOAD(SD)
 マイクロ SD カードに保存されているデータを PROGRAM BOX に展開するメニューです。
 ※マイクロ SD カードにデータが保存されていない場合はファイル選択できません。

※<4>SETTING DATA WRITE(ESC) をおこなわないと設定変更が SUPER VORTEX Gen2 に反映されませのでご注意ください。

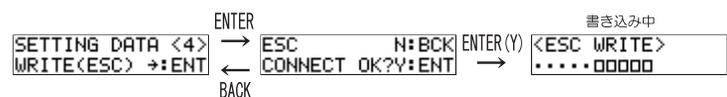


・<3> SETTING DATA VIEW&EDIT
 PROGRAM BOX 内に読み込んだデータの内容の確認と変更をおこなうメニューです。



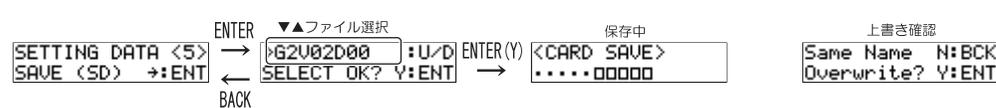
・<4> SETTING DATA WRITE(ESC)
 PROGRAM BOX 内で設定内容の変更をおこなったデータを SUPER VORTEX Gen2 に書き込むメニューです。

※<4>SETTING DATA WRITE(ESC) をおこなわないと設定変更が SUPER VORTEX Gen2 に反映されませのでご注意ください。

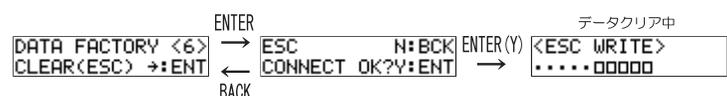


・<5> SETTING DATA SAVE(SD)
 PROGRAM BOX 内で設定内容の変更をおこなったデータをマイクロ SD カードに保存するメニューです。

保存するファイル名は [G2V02D00 ~ G2V02D49] からの選択になります。
 既にデータが保存されているファイルに上書きする場合は確認してからの保存になります。
 ※PC でファイル名を変更してしまうと PROGRAM BOX に展開できなくなりますのでファイル名は絶対に変更しないでください。



・<6> DATA FACTORY CLEAR(ESC)
 SUPER VORTEX Gen2 の設定を出荷状態の初期値に戻すメニューです。

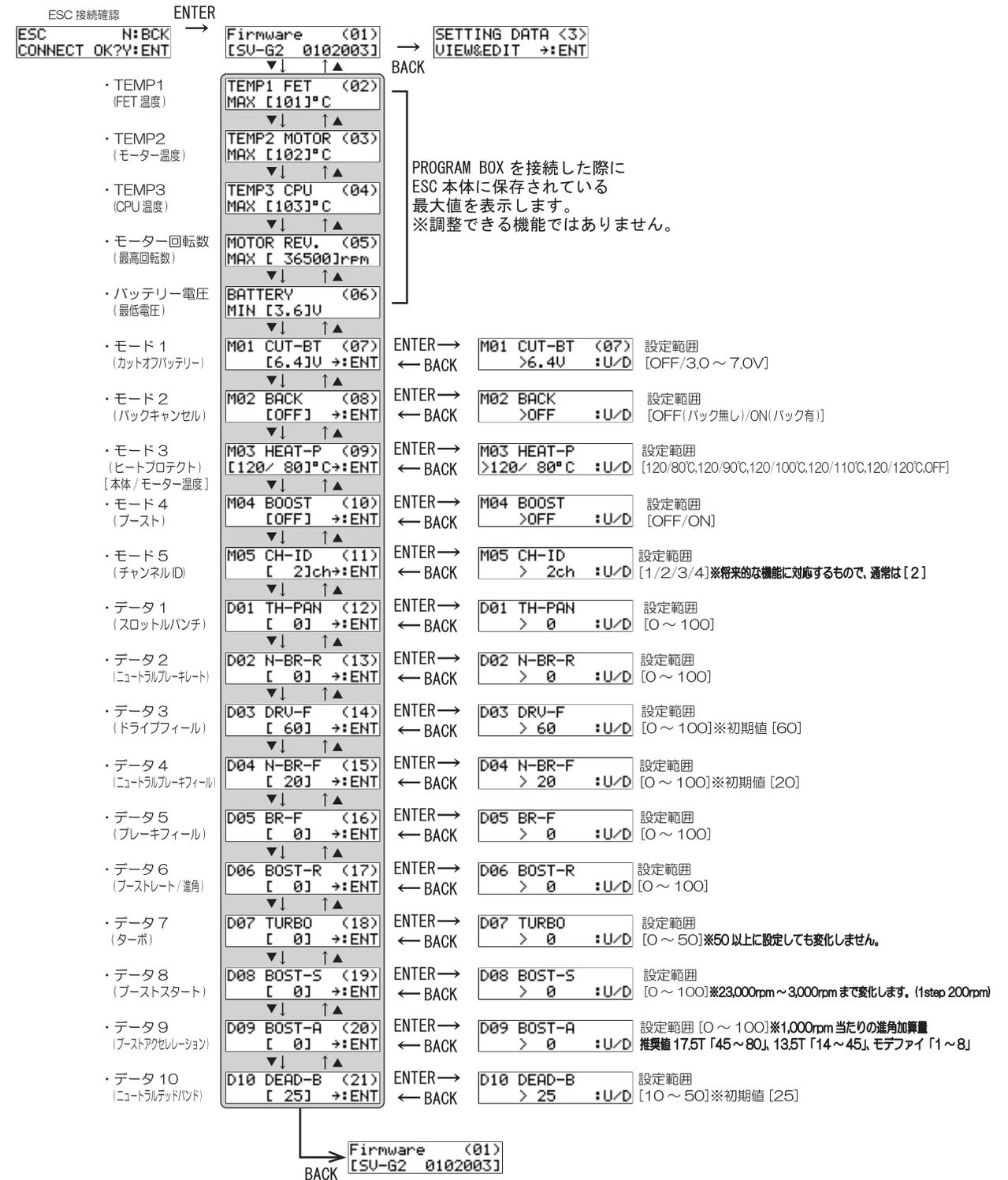


※ニュートラル / ハイポイント / ブレーキ ポイントもクリアされますので再設定をおこなってください。

●セッティングメニューの調整について (ファームウェア Ver.01.02R001)

SUPER VORTEX Gen2 と PROGRAM BOX を接続して PROGRAM BOX に SUPER VORTEX Gen2 の設定内容を読み込んで設定内容を PROGRAM BOX 内で編集してから SUPER VORTEX Gen2 に書き込むことによって設定変更が反映される仕様となっております。設定変更は設定するメニューを選択してエンター [ENTER] 操作後、UP ボタン [▲]/DOWN ボタン [▼] で設定値を変更してください。

⚠注意 設定変更したあとは必ず SUPER VORTEX Gen2 へ書き込み作業をおこなってください。(P.3 参照)



PROGRAM BOX 2 テレメトリー&コードアサインメニューについて

TELEMETRY は弊社テレメトリー対応送信機のみに対応となります。(M12S/EXZES ZZ/M12/EXZES Z/MT-4S/MT-4/MT-S)
CODE 10 は対応する M12S/EXZES ZZ のみに対応となります。

●TELEMETRY&CODE ASSIGN MENU について (ファームウェア Ver.01.02R001)

TELEMETRY&CODE ASSIGN MENU はテレメトリーとコードアサインに関する設定をおこなうメニューです。

※将来的な機能の拡張に対応するメニューで、現時点ではプロボに表示するテレメトリーデータの入れ替えやコードAUXで調整する機能のON/OFFが可能です。

・本機能を使用される場合はマイクロSDカードを必ず挿入してください。

マイクロSDカードを挿した初回には下記の表示になります。



注) この表示はマイクロSDカードに対応するファイルが無い為です。



ファイル生成後 TLM1(01)へ



マイクロSDカードを挿入せずに ENTER 操作すると警告メッセージが表示されます。

・TELEMETRY メニュー

※送信機へのテレメトリーデータは4つの機能に限られます。

[R] (※リターン) の設定値を変更することでプロボへ表示するテレメトリーの内容を変更できます。(表示する単位の関係によって制限があります。)

出荷時は TLM1 (SUPER VORTEX Gen2 の FET 温度)、TLM2 (モーター温度)、RPM1 (モーター回転数)、VOLT (バッテリー電圧) となっております。

(01) TLM1・・・テレメトリー1の設定をおこなうメニュー (出荷時は SUPER VORTEX Gen2 の FET 温度)

(02) TLM2・・・テレメトリー2の設定をおこなうメニュー (出荷時はモーター温度)

(03) RPM1・・・モーター回転数1の設定をおこなうメニュー

(04) RPM2・・・モーター回転数2の設定をおこなうメニュー ※出荷時には機能がOFFになっています。注: RPM2が表示できる送信機はありません。

(05) VOLT・・・走行用バッテリー電圧の設定をおこなうメニュー

※項目の [CH] 設定を変更することも可能ですが、M12S や EXZES ZZ のタイプ変更によってスロットル CH が [2] 以外になる場合で SUPER VORTEX Gen2

を接続するスロットル CH に合わせて設定変更してください。通常は [2] の設定のままで使用してください。

※CH 設定とテレメトリー表示機能の設定を「0」に設定すると機能がOFFになります。



出荷時には機能 OFF に。

CH 設定	設定値	テレメトリー表示機能 [R]	設定値
CH1[ST]	1	FET 温度	1
CH2[TH]	2	モーター温度	2
CH3	3	CPU 温度	3
CH4	4	モーター回転数	4
CH 設定 OFF	0	最大モーター回転数	5

※TLM1/TLM2 限定

テレメトリー表示機能 [R]	設定値
バッテリー電圧	6
最大 FET 温度	7
最大モーター温度	8
最大 CPU 温度	9
機能 OFF	0

※TLM1/TLM2 限定

※テレメトリー表示機能 [R] の設定の 10 ~ 99 は現状では機能 OFF になります。

・CODE AUX メニュー

(06) AUX1CODE01・・・出荷時には SUPER VORTEX Gen2 のモード5 (スロットルパンチ) が設定されています。

(07) AUX1CODE02・・・出荷時には SUPER VORTEX Gen2 のモード6 (ニュートラルブレーキレイト) が設定されています。

(08) AUX1CODE03・・・出荷時には SUPER VORTEX Gen2 のモード7 (ドライブフィール) が設定されています。

(09) AUX1CODE04・・・出荷時には SUPER VORTEX Gen2 のモード8 (ニュートラルブレーキフィール) が設定されています。

(10) AUX1CODE05・・・出荷時には SUPER VORTEX Gen2 のモード9 (ブレーキフィール) が設定されています。

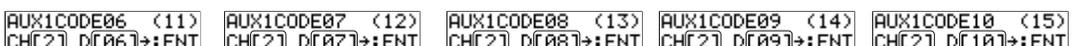
(11) AUX1CODE06・・・出荷時には SUPER VORTEX Gen2 のモード10 (ブーストレイト / 進角) が設定されています。

(12) AUX1CODE07・・・出荷時には SUPER VORTEX Gen2 のモード11 (ターボ / スロットル全開時の進角加算) が設定されています。

(13) AUX1CODE08・・・出荷時には SUPER VORTEX Gen2 のモード12 (ブーストスタート) が設定されています。

(14) AUX1CODE09・・・出荷時には SUPER VORTEX Gen2 のモード13 (ブーストアクセルレーション) が設定されています。

(15) AUX1CODE10・・・出荷時には SUPER VORTEX Gen2 のモード14 (ニュートラルレッドバンド) が設定されています。

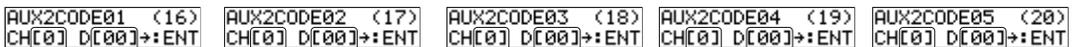


CH 設定	設定値	CODE AUX 設定機能 [D]	設定値
CH1[ST]	1	スロットルパンチ	01
CH2[TH]	2	ニュートラルブレーキレイト	02
CH3	3	ターボ / スロットル全開時の進角加算	07
CH4	4	ブーストスタート	08
CH 設定 OFF	0	ブーストアクセルレーション	09
		ニュートラルレッドバンド	10
		機能 OFF	00

※CODE AUX 設定機能 [D] の設定の 11 ~ 99 は現状では機能 OFF になります。

※同一機能を複数の CODE に割り当てないでください。故障の原因となります。

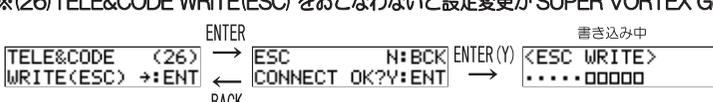
・(16) AUX2CODE01 ~ (25) AUX2CODE10・・・将来的な機能に対応するためのもので、出荷時に機能は設定されていません。



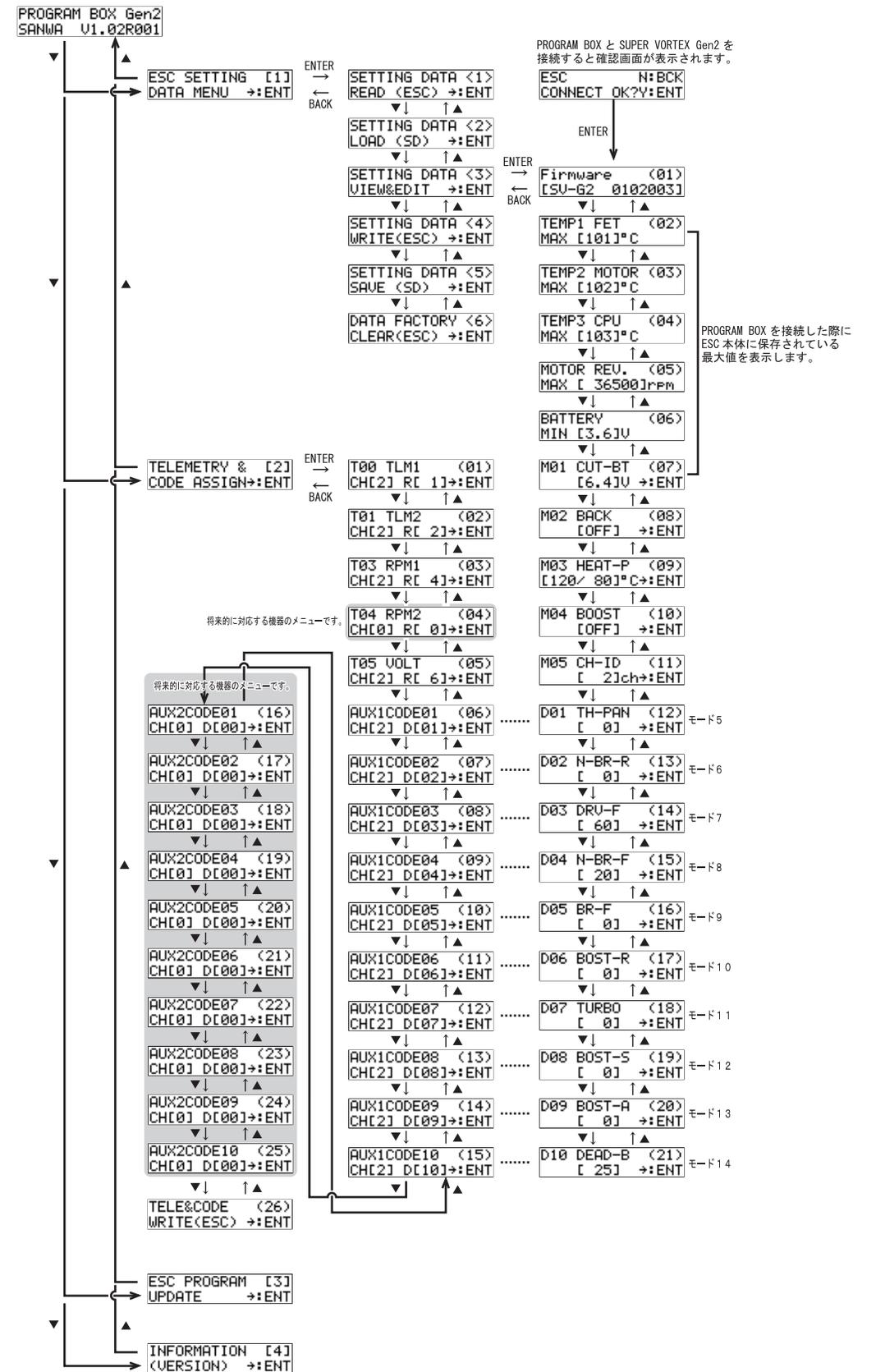
・(26) TELE&CODE WRITE (ESC)

PROGRAM BOX 内で設定内容の変更をおこなったテレメトリーとコードAUXのデータを SUPER VORTEX Gen2 に書き込むメニューです。

※(26) TELE&CODE WRITE (ESC) をおこなわないと設定変更が SUPER VORTEX Gen2 に反映されませんのでご注意ください。



PROGRAM BOX 2 メニュー遷移フローチャート



PROGRAM BOX と SUPER VORTEX Gen2 を接続すると確認画面が表示されます。

PROGRAM BOX を接続した際に ESC 本体に保存されている最大値を表示します。

将来的に対応する機器のメニューです。

将来的に対応する機器のメニューです。

取扱説明書

このたびは、PROGRAM BOX Gen2 をお買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品を安全にご使用いただくために、取扱に関する手順、注意事項について説明しています。
本製品の性能を十分発揮させるために、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しくお取り扱いいただくようお願い申し上げます。なお本書はお読みになった後も、いつでも読めるように大切に保管してください。

注意 安全に使用していただくための注意事項

- 本製品は SANWA Super VORTEX Gen2/PRO 専用です。他社製品でのご使用は、メーカーによって仕様異なるため本製品の故障の原因となりますので使用しないでください。
- 本製品にバッテリーを接続する際に極性 (+/-) は絶対に間違えないでください。逆接すると瞬時にプログラム ボックス自体が壊れます。
- 本製品は電子部品を搭載しており、大変水に弱いため雨天時や水たまりのある場所では絶対に使用しないでください。

PROGRAM BOX Gen2 の特長

- SUPER VORTEX Gen2 および SUPER VORTEX Gen2 PRO のファームウェアのアップデートを含む全ての調整が可能になります。
 - マイクロ SD カード対応で、プログラム ボックスで設定したデータや、対応する送信機で設定された SUPER VORTEX Gen2/PRO の設定値をマイクロ SD カードに保存することができます。(※マイクロ SD カードは別売り)
 - PROGRAM BOX Gen2 が対応しているマイクロ SD カードは、マイクロ SD/ マイクロ SDHC カードになります。
- ※PROGRAM BOX Gen2 ではマイクロ SD カード内のファイル削除はおこなえません。不要なファイルは PC などで削除してください。

テクニカルデータ

- 使用電源 3.6V ~ 7.4V
- 寸法 86.2 x 59.0 x 19.2mm (突起部含まず)
- 重量 75g

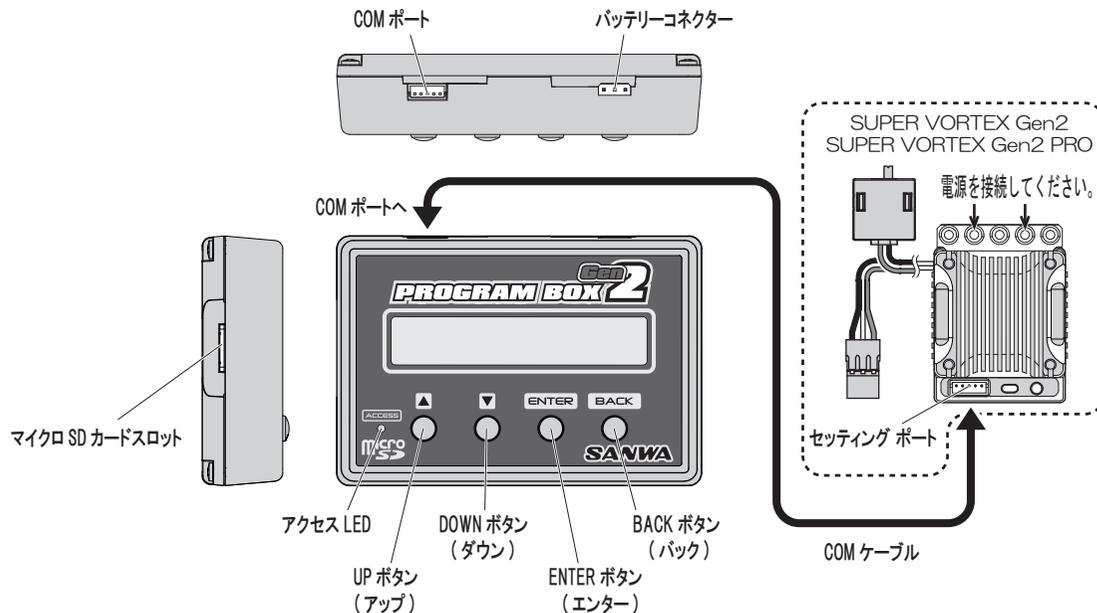
付属品

- COM ケーブル 1 本
- 電池ボックス 1 本
- 取扱説明書 (本書) 1 部

各部の名称

- PROGRAM BOX Gen2 の COM ポートと SUPER VORTEX Gen2/PRO を COM ケーブルで接続して使用します。
- 注) SUPER VORTEX Gen2 と PROGRAM BOX Gen2 (ファームウェア Ver.01.03R001) を接続して使用する場合には SUPER VORTEX Gen2 のファームウェアをアップデートしないと PROGRAM BOX Gen2 と通信できません。使用する前に必ずファームウェアをアップデートしてください。
- 電源について
SUPER VORTEX Gen2/PRO と接続して使用する場合は SUPER VORTEX Gen2/PRO の BEC から電源供給されます。同梱されている電池ボックスを使用することで PROGRAM BOX Gen2 単体での動作も可能になります。
- ※電池 BOX を使用する場合に電池の電圧が下がると PROGRAM BOX が正常に動作できなくなります。「FLOW BATTERY」の表示が出た場合はすみやかに電池を交換してください。
- ※電池 BOX を使用して PROGRAM BOX Gen2 を動作させる場合には編集したデータをマイクロ SD カードに保存することはできませんが、SUPER VORTEX Gen2/PRO との通信はおこなえますのでご注意ください。

※PROGRAM BOX Gen2 のメニューには、設定方法によっては使用できなくなるメニューや将来的な機器に対応するメニューが含まれています。機能の設定については十分注意して設定してください。



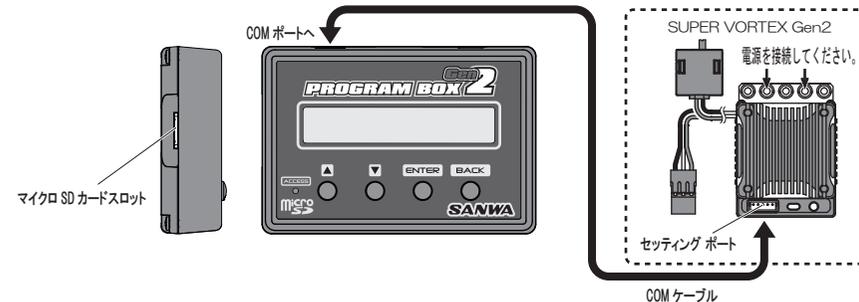
PROGRAM BOX Gen2 使用する前に

- PROGRAM BOX Gen2 (ファームウェア Ver.01.03R001) と SUPER VORTEX Gen2 を接続した際に SUPER VORTEX Gen2 のファームウェアが PROGRAM BOX Gen2 に対応していません。使用する前に必ずファームウェアをアップデートしてください。
- ・ファームウェアをアップデートしていない状態で接続するとキー操作した際にアップデートのメッセージが表示されます。



注意 ファームウェアをアップデートすると、以前の設定データは初期化されます。事前に SETTING DATA SAVE(SD) で、マイクロ SD カードに設定を保存しておきアップデート後に SUPER VORTEX Gen2/PRO に書き込んでください。

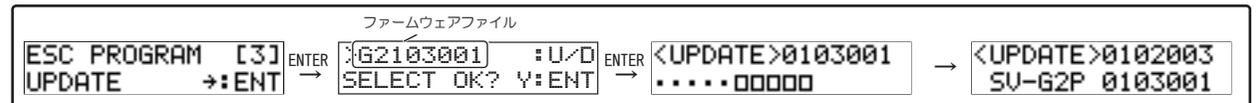
- 1) 弊社 HP からファームウェアをマイクロ SD カードにダウンロードして、PROGRAM BOX Gen2 のマイクロ SD カードスロットに挿してください。 ※書き込みをおこなう PC の OS には依存しません。
- 2) PROGRAM BOX Gen2 と SUPER VORTEX Gen2 を COM ケーブルで接続してください。



3) ESC PROGRAM UPDATE のメニューへ移動します。



4) ENTER するとファイル選択画面に切り替わりますので、ファームウェアファイル (G2103001) を選択して ENTER します。



5) ファームウェアがアップデートされて PROGRAM BOX Gen2 と SUPER VORTEX Gen2 がリンク可能になります。アップデート後は PROGRAM BOX Gen2 と SUPER VORTEX Gen2 を接続して電源 ON にすると接続確認のメニューからスタートします。設定する内容に合わせてメニューを選択してください。

※弊社 HP で SUPER VORTEX Gen2 PRO のファームウェアをアップデートした際には上記と同様の方法でアップデートが可能となります。

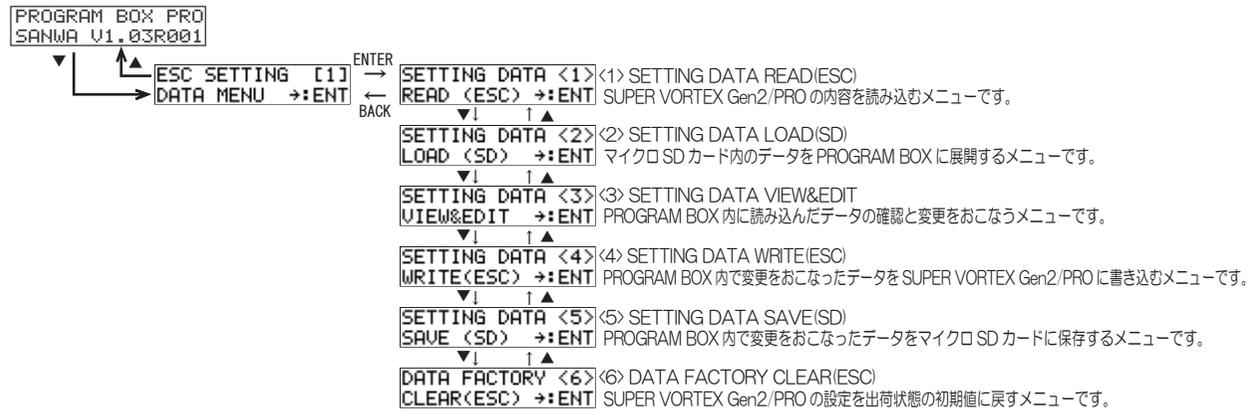
PROGRAM BOX Gen2 メニューについて

- PROGRAM BOX Gen2 は SUPER VORTEX Gen2/PRO の各種設定変更がおこなえる ESC SETTING MENU とテレメトリーやコード AUX の設定に関する設定変更がおこなえる TELEMETRY & CODE ASSIGN と SUPER VORTEX Gen2/PRO のプログラムアップデートをおこなう ESC PROGRAM UPDATE の項目にわかれております。設定する内容にあわせてメニュー選択をおこなって設定してください。

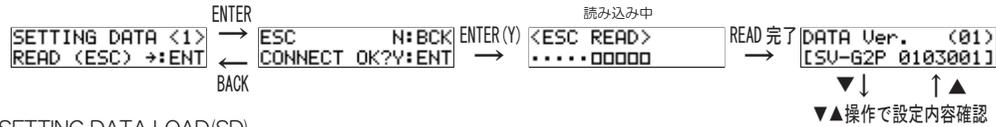


PROGRAM BOX 2 セッティングメニューについて

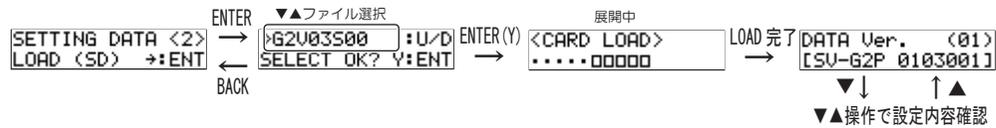
●ESC SETTING MENU について
ESC SETTING MENU は SUPER VORTEX Gen2/PRO の各種設定がおこなえるメニューです。
※設定内容の変更に関して、PROGRAM BOX 内にデータを読み込み / 編集作業をおこない、SUPER VORTEX Gen2/PRO に編集したデータを書き込むことで作業が完了する仕組みです。



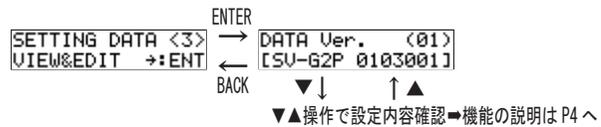
・<1> SETTING DATA READ(ESC)
SUPER VORTEX Gen2/PRO を接続して設定されている内容を PROGRAM BOX に読み込むメニューです。



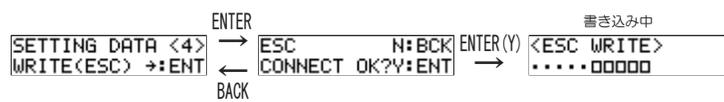
・<2> SETTING DATA LOAD(SD)
マイクロ SD カードに保存されているデータを PROGRAM BOX に展開するメニューです。
※マイクロ SD カードにデータが保存されていない場合はファイル選択できません。
※<4>SETTING DATA WRITE(ESC) をおこなわないと設定変更が SUPER VORTEX Gen2/PRO に反映されませんのでご注意ください。



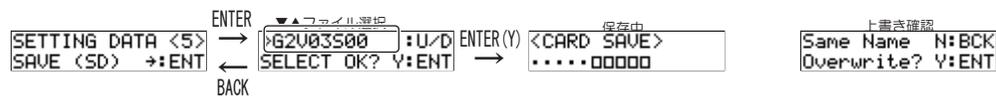
・<3> SETTING DATA VIEW&EDIT
PROGRAM BOX 内に読み込んだデータの内容の確認と変更をおこなうメニューです。



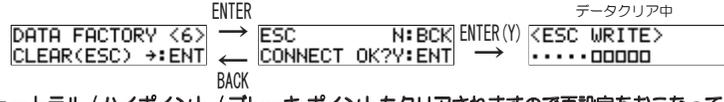
・<4> SETTING DATA WRITE(ESC)
PROGRAM BOX 内で設定内容の変更をおこなったデータを SUPER VORTEX Gen2/PRO に書き込むメニューです。
※<4>SETTING DATA WRITE(ESC) をおこなわないと設定変更が SUPER VORTEX Gen2/PRO に反映されませんのでご注意ください。



・<5> SETTING DATA SAVE(SD)
PROGRAM BOX 内で設定内容の変更をおこなったデータをマイクロ SD カードに保存するメニューです。
保存するファイル名は [G2V02S00 ~ G2V02S49] からの選択になります。
既にデータが保存されているファイルに上書きする場合は確認してからの保存になります。
※PC でファイル名を変更してしまうと PROGRAM BOX に展開できなくなりますのでファイル名は絶対に変更しないでください。



・<6> DATA FACTORY CLEAR(ESC)
SUPER VORTEX Gen2/PRO の設定を出荷状態の初期値に戻すメニューです。



※ニュートラル / ハイポイント / ブレーキ ポイントもクリアされますので再設定をおこなってください。

PROGRAM BOX 2 セッティングメニューの調整について

●セッティングメニューの調整について (ファームウェア Ver.01.03R001)
SUPER VORTEX Gen2/PRO と PROGRAM BOX を接続して PROGRAM BOX に SUPER VORTEX Gen2/PRO の設定内容を読み込んで設定内容を PROGRAM BOX 内で編集してから SUPER VORTEX Gen2/PRO に書き込むことによって設定変更が反映される仕様になっております。
設定変更は設定するメニューを選択してエンター [ENTER] 操作後、UP ボタン [▲]/DOWN ボタン [▼] で設定値を変更してください。

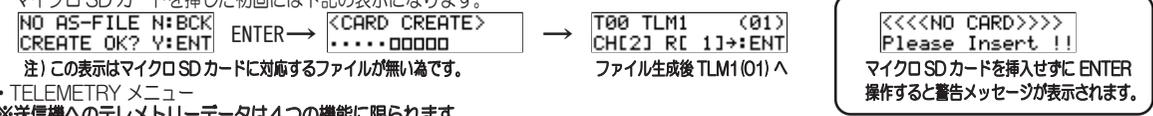
⚠注意 設定変更したあとは必ず SUPER VORTEX Gen2/PRO へ書き込み作業をおこなってください。(P.3 参照)

ESC	N:BCK	ENTER	DATA Ver. <01> [SU-G2P 0103001]	SETTING DATA <3> VIEW&EDIT →:ENT
ESC 接続確認			TEMP1 FET (02) MAX [1011]°C	PROGRAM BOX を接続した際に ESC 本体に保存されている最大値または最低値を表示します。 ※調整できる機能ではありません。
			TEMP2 MOTOR (03) MAX [1021]°C	
			TEMP3 CPU (04) MAX [1031]°C	
			MOTOR REV. (05) MAX [36500]rpm	
			BATTERY (06) MIN [3.6]V	
			M01 CUT-BT (07) [6.4]V →:ENT	ENTER → M01 CUT-BT (07) [OFF/3.0 ~ 7.0V] <ESC> →:ENT >6.4V :U/D ※使用するバッテリーに合わせて調整してください。
			M02 BACK (08) [OFF] →:ENT	ENTER → M02 BACK :U/D <ESC> →:ENT >OFF :U/D 設定範囲 [OFF(バック無し)/ON(バック有)]
			M03 HEAT-P (09) [120/80]°C →:ENT	ENTER → M03 HEAT-P :U/D <ESC> →:ENT >120/80°C :U/D 設定範囲 [120/80°C,120/90°C,120/100°C,120/110°C,120/120°C,OFF]
			M04 BOOST (10) [OFF] →:ENT	ENTER → M04 BOOST :U/D <ESC> →:ENT >OFF :U/D 設定範囲 [OFF/ON]
			M05 CH-ID (11) [2]ch →:ENT	ENTER → M05 CH-ID :U/D <ESC> →:ENT >2ch :U/D 設定範囲 [1/2/3/4] ※将来的な機能に対応するもので、通常は [2]
			D01 TH-PAN (12) [0] →:ENT	ENTER → D01 TH-PAN :U/D <ESC> →:ENT >0 :U/D 設定範囲 [0 ~ 100]
			D02 N-BR-R (13) [0] →:ENT	ENTER → D02 N-BR-R :U/D <ESC> →:ENT >0 :U/D 設定範囲 [0 ~ 100]
			D03 DRU-F (14) [60] →:ENT	ENTER → D03 DRU-F :U/D <ESC> →:ENT >60 :U/D 設定範囲 [0 ~ 100] ※初期値 [30]
			D04 N-BR-F (15) [20] →:ENT	ENTER → D04 N-BR-F :U/D <ESC> →:ENT >20 :U/D 設定範囲 [0 ~ 100] ※初期値 [20]
			D05 BR-F (16) [0] →:ENT	ENTER → D05 BR-F :U/D <ESC> →:ENT >0 :U/D 設定範囲 [0 ~ 100]
			D06 BOST-R (17) [0] →:ENT	ENTER → D06 BOST-R :U/D <ESC> →:ENT >0 :U/D 設定範囲 [0 ~ 100]
			D07 TURBO (18) [0] →:ENT	ENTER → D07 TURBO :U/D <ESC> →:ENT >0 :U/D 設定範囲 [0 ~ 50] ※50 以上に設定しても変化しません。
			D08 BOST-S (19) [0] →:ENT	ENTER → D08 BOST-S :U/D <ESC> →:ENT >0 :U/D 設定範囲 [0 ~ 100] ※23,000rpm ~ 3,000rpm まで変化します。(1step 200rpm)
			D09 BOST-A (20) [0] →:ENT	ENTER → D09 BOST-A :U/D <ESC> →:ENT >0 :U/D 設定範囲 [0 ~ 100] ※1,000rpm 当たりの進角加算量 推奨値 17.5T [45 ~ 80], 13.5T [14 ~ 45], モデファイ [1 ~ 8]
			D10 DEAD-B (21) [25] →:ENT	ENTER → D10 DEAD-B :U/D <ESC> →:ENT >25 :U/D 設定範囲 [10 ~ 50] ※初期値 [25]
			D11 F-BR-R (22) [0] →:ENT	ENTER → D11 F-BR-R :U/D <ESC> →:ENT >0 :U/D 設定範囲 [-100 ~ 0] ※初期値 [0]
			D12 TB-SLP (23) [0] →:ENT	ENTER → D12 TB-SLP :U/D <ESC> →:ENT >0 :U/D 設定範囲 [0 ~ 100] ※初期値 [0]
			D13 TB-REL (24) [0] →:ENT	ENTER → D13 TB-REL :U/D <ESC> →:ENT >0 :U/D 設定範囲 [0 ~ 100] ※初期値 [0]
			D14 TB-DLV (25) [0] →:ENT	ENTER → D14 TB-DLV :U/D <ESC> →:ENT >0 :U/D 設定範囲 [0 ~ 100] ※初期値 [0]

左記太枠が Super VORTEX Gen2 PRO にて追加になった機能になっております。

PROGRAM BOX 2 テレメリー&コードアサインメニューについて

TELEMETRYは弊社テレメリー対応送信機のみに対応となります。(M12S/M12S-RS/EXZES ZZ/MT-44/MT-S)
 CODE 10は対応するM12S/M12S-RS/EXZES ZZ/MT-44のみに対応となります。
 ●TELEMETRY&CODE ASSIGN MENUについて(ファームウェア Ver.01.03R001)
 TELEMETRY&CODE ASSIGN MENUはテレメリーとコードアサインに関する設定をおこなうメニューです。
 ※将来的な機能の拡張に対応するメニューで、現時点ではプロボに表示するテレメリーデータの入れ替えやコードAUXで調整する機能のON/OFFが可能です。
 ・本機能を使用される場合はマイクロSDカードを必ず挿入してください。
 マイクロSDカードを挿した初回は下記の表示になります。



・TELEMETRYメニュー
 ※送信機へのテレメリーデータは4つの機能に限られます。
 [R](※リターン)の設定値を変更することでプロボへ表示するテレメリーの内容を変更できます。(表示する単位の関係によって制限があります。)
 出荷時はTLM1(SUPER VORTEX Gen2/PROのFET温度)、TLM2(モーター温度)、RPM1(モーター回転数)、VOLT(バッテリー電圧)となっております。
 (01) TLM1・・・テレメリー1の設定をおこなうメニュー(出荷時はSUPER VORTEX Gen2/PROのFET温度)
 (02) TLM2・・・テレメリー2の設定をおこなうメニュー(出荷時はモーター温度)
 (03) RPM1・・・モーター回転数1の設定をおこなうメニュー
 (04) RPM2・・・モーター回転数2の設定をおこなうメニュー ※出荷時には機能がOFFになっています。注：RPM2が表示できる送信機はありません。
 (05) VOLT・・・走行用バッテリー電圧の設定をおこなうメニュー
 ※項目の[CH]設定を変更することも可能ですが、M12S/M12S-RS/EXZES ZZ/MT-44のタイプ変更によってスロットルCHが[2]以外になる場合でSUPER VORTEX Gen2/PROを接続するスロットルCHに合わせて設定変更してください。通常は[2]の設定のままで使用してください。
 ※CH設定とテレメリー表示機能の設定を「0」に設定すると機能がOFFになります。 出荷時には機能OFFに。

T00 TLM1 <01> CH[2] RC [1] +=:ENT	T01 TLM2 <02> CH[2] RC [2] +=:ENT	T03 RPM1 <03> CH[2] RC [4] +=:ENT	T04 RPM2 <04> CH[0] RC [0] +=:ENT	T05 VOLT <05> CH[2] RC [6] +=:ENT
CH設定 テレメリー表示機能	CH設定 テレメリー表示機能	CH設定 テレメリー表示機能	CH設定 テレメリー表示機能	CH設定 テレメリー表示機能

CH設定	設定値	テレメリー表示機能[R]	設定値
CH1[ST]	1	FET温度	1
CH2[TH]	2	モーター温度	2
CH3	3	CPU温度	3
CH4	4	モーター回転数	4
CH設定OFF	0	最大モーター回転数	5

テレメリー表示機能[R]	設定値
バッテリー電圧	6
進角加算量	7
最大FET温度	8
最大モーター温度	9
最大CPU温度	10
機能OFF	0

・CODE AUXメニュー
 ※テレメリー表示機能[R]の設定の11～99は現状では機能OFFになります。
 (06) AUX1CODE01・・・出荷時にはSUPER VORTEX Gen2/PROのモード5(スロットルパンチ)が設定されています。
 (07) AUX1CODE02・・・出荷時にはSUPER VORTEX Gen2/PROのモード6(ニュートラルブレーキレイト)が設定されています。
 (08) AUX1CODE03・・・出荷時にはSUPER VORTEX Gen2/PROのモード7(ドライブフィール)が設定されています。
 (09) AUX1CODE04・・・出荷時にはSUPER VORTEX Gen2/PROのモード8(ニュートラルブレーキフィール)が設定されています。
 (10) AUX1CODE05・・・出荷時にはSUPER VORTEX Gen2/PROのモード9(ブレーキフィール)が設定されています。
 (11) AUX1CODE06・・・出荷時にはSUPER VORTEX Gen2/PROのモード10(ブーストレイト/進角)が設定されています。
 (12) AUX1CODE07・・・出荷時にはSUPER VORTEX Gen2/PROのモード11(ターボ/スロットル全開時の進角加算)が設定されています。
 (13) AUX1CODE08・・・出荷時にはSUPER VORTEX Gen2/PROのモード12(ブーストスタート)が設定されています。
 (14) AUX1CODE09・・・出荷時にはSUPER VORTEX Gen2/PROのモード13(ブーストアクセルレーション)が設定されています。
 (15) AUX1CODE10・・・出荷時にはSUPER VORTEX Gen2/PROのモード14(ニュートラルレッドバンド)が設定されています。

AUX1CODE01 <06> CH[2] D[01] +=:ENT	AUX1CODE02 <07> CH[2] D[02] +=:ENT	AUX1CODE03 <08> CH[2] D[03] +=:ENT	AUX1CODE04 <09> CH[2] D[04] +=:ENT	AUX1CODE05 <10> CH[2] D[05] +=:ENT
CH設定 設定機能	CH設定 設定機能	CH設定 設定機能	CH設定 設定機能	CH設定 設定機能

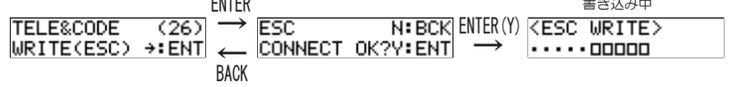
CH設定	設定値	CODE AUX設定機能[D]	設定値
CH1[ST]	1	スロットルパンチ	01
CH2[TH]	2	ニュートラルブレーキレイト	02
CH3	3	ドライブフィール	03
CH4	4	ニュートラルブレーキフィール	04
CH設定OFF	0	ブレーキフィール	05
		ブーストレイト/進角	06
		ターボ/スロットル全開時の進角加算	07

CODE AUX設定機能[D]	設定値
ブーストスタート	08
ブーストアクセルレーション	09
ニュートラルレッドバンド	10
フルブレーキレイト	11
ターボスローブ	12
ターボ解放スローブ	13
ターボディレイ	14
機能OFF	00

※CODE AUX設定機能[D]の設定の11～99は現状では機能OFFになります。
 ※同一機能を複数のCODEに割り当てないでください。故障の原因となります。

・(16) AUX2CODE01～(25) AUX2CODE10・・・将来的な機能に対応するためのもので、出荷時には機能は設定されていません。
 AUX2CODE01 <16> CH[0] D[00] +=:ENT
 AUX2CODE02 <17> CH[0] D[00] +=:ENT
 AUX2CODE03 <18> CH[0] D[00] +=:ENT
 AUX2CODE04 <19> CH[0] D[00] +=:ENT
 AUX2CODE05 <20> CH[0] D[00] +=:ENT
 AUX2CODE06 <21> CH[0] D[00] +=:ENT
 AUX2CODE07 <22> CH[0] D[00] +=:ENT
 AUX2CODE08 <23> CH[0] D[00] +=:ENT
 AUX2CODE09 <24> CH[0] D[00] +=:ENT
 AUX2CODE10 <25> CH[0] D[00] +=:ENT

・(26) TELE&CODE WRITE(ESC)
 PROGRAM BOX内で設定内容の変更をおこなったテレメリーとコードAUXのデータをSUPER VORTEX Gen2/PROに書き込むメニューです。
 ※(26) TELE&CODE WRITE(ESC)をおこなわないと設定変更がSUPER VORTEX Gen2/PROに反映されませんのでご注意ください。



PROGRAM BOX 2 メニュー遷移フローチャート

